

新たな実証実験テーマ設定型 募集内容

テーマ	No.1	『歩行支援システム』に関する実証実験の実施
主旨	本庁舎等整備の基本的方針の一つに「すべての人にわかりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を掲げ、設計段階から障害当事者や専門家の意見を十分に伺いながら、その実現に注力してきた。 視覚障害者の誘導方策として、「敷地から建物内の総合案内まで」、「総合案内から一番近いエレベーターまで」、「エレベーターから一番近い窓口及びバリアフリースイレまで」といった移動経路を想定し、点字ブロックを敷設したほか、バリアフリースイレには位置情報を案内する音声システムも導入した。 しかしながら、新庁舎は3期工事竣工後、敷地面積約21,000平米・延床面積約73,000平米にもなり、視覚障害当事者等からは、庁舎内の移動距離が長くなることから、単独で庁舎内を移動することが困難であるとの訴えがあり、ICT技術を活用した情報のバリアフリー化による歩行支援の要望があった。 このことから、既に整備した既存の点字ブロックに、リングや三角などの記号を貼付し、コード化した『コード化点字ブロック』にスマートフォンをかざすことで、周辺情報を音声案内することができる歩行支援システムについて、その有用性の検証のため、実証実験を実施する。	
募集内容の詳細	健常者のみならず視覚障害者にもスマートフォンやタブレットの利用が普及していることから、床に敷設された『コード化点字ブロック』にスマートフォン等をかざすことにより、誰もが音声情報案内を利用することが可能となる環境を構築すること。 なお、スマートフォン等で活用するアプリケーションについては、iPhone・Androidの両OSで対応可能なものとする。	
関連する区の既存事業		
期待する効果	以下の項目から1つ以上にチェックしてください。 ☒ 区民サービスの向上 ☐ 事務の改善・効率化 ☐ 財源や人材など経営資源の最適化・効率化	
	ICT技術の活用により、情報のバリアフリー化を実現。	
実施予定時期	令和7年5～7月 実証実験。 使用後の効果検証において有用であることが確認できた場合は、令和8年度の事業化を目指す。	
担当部署	庁舎整備担当部 庁舎管理担当課	